



宮崎会長テーマ

『楽しくやろう・ロータリー』(Let's have fun-Rotary)

2024-2025 RI 会長:ステファニー・アーチック 2570 地区ガバナー五十幡和彦 会長:宮崎正文 幹事:田中快枝

37号 3382例会 2025年 4月 10日(木)

会長の時間

宮崎正文会長

段々と春らしくなってきました。そのうちに、暑くなるかも知れません。気候の変動でわからないですが、今、桜も満開だし、すごくいい季節になりました。今日もよろしくお願いします。



本日4月10日は、「女性の日」だそうです。昭和21年4月10日に戦後初の総選挙が実施され、そこで初めて女性の参政権が行使されました。これを記念して、当時の労働省が「婦人の日」と制定し、その後、平成10年に「女性の日」と改称されたそうです。

昭和21年4月10日の総選挙時、初めて投票した女性は、約1,380万人。そして39名の女性国会議員が誕生しました。また、4月10日から1週間を「女性週間」としており、女性の地位向上を目的とした活動をするための週間として提唱しているそうです。

ついでに、4/10と調べたら、沢山の記念日があります。「駅弁の日」「四万十の日」「交通事故死ゼロを目指す日」など、ネットでチェックしてみたら、たくさん出てきました。皆さん、お暇の時に調べて見て下さい。

次に、先週5日の土曜日に、飯能ロータリークラブの60周年創立記念式典に、田中幹事、水村パストガバナーともども、参加してまい



りました。当日は、記念式典・記念演奏・記念講演・祝宴と4部構成になっておりまして、3時半点鐘して、祝宴の始まりが5時半過ぎであり、閉会が7時を過ぎており、合計4時間くらいの会となりました。参加者が120人ほどでした。

今回、入間ロータリークラブが飯能ロータリークラブのスポンサークラブという事もあり、自分が祝辞を述べさせてもらいました。それと、記念誌にも原稿を寄稿させてもらいました。

何とか、祝辞も無事こなせましたので、入間クラブの地位を汚さないで良かったです。



何か自分が会長の時、いろいろな事が回ってきて、他のバスト会長さんたちと違ったことを経験させてもらっていますが、勉強させていただいているつもりでこれからも、残りの会長の役を務めさせていただきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

次にロータリーの話しをいたします。ロータリーの話しは、たくさんあって難しいですけど、今日は、先日、自分が受けてきた、RLIファシリテーター養成セミナーのことを話させていただきたいと思います。

そもそも、RLIとは何かということですが、「THE ROTARY LEADERSHIP INSTITUTE」の略で、その読みは、「ロータリーのリーダーの研究所」の意味だと思います。

その RLI 養成セミナーの参加資格は、年 3 回実施しているリーダーシップ研究会 RLI の Part I からⅢまでの全課程を修了しないと、参加できません。

Part I・Ⅱ・Ⅲとありまして、三日間朝 9 時から夕方 4 時 45 分まで、缶詰になって研修を受けるものです。まず、最初に開講式が 30 分ほどありまして、その後 1 時限 50 分を、6 時間 10 人位のグループに分かれ、ディスカッションをしていくセミナーです。

昨年度は、津藤さんと一緒に受けていましたが、今年は晝間エレクトと一緒に受けました。本来なら、去年 3 回受けるつもりが、Part Ⅱだけ受けられなくて、今年受講しました。1 時間の題名が、組織のことやリーダーシップ戦略、クラブを作るとか財団の事、各パートの総合化等、ロータリーで難しい事のディスカッションを行いました。

受講対象者が、会長エレクト、幹事エレクト、会長の推薦する役員、入会 1~5 年未満程度の新会員、ロータリーの知識や研修を深めたい人等、多数の受講者がおりました。自分が実際に受けてみて、思ったことは、これを受講するとロータリーのことは、大体わかるような気がしました。

昨年 12/21 に、晝間さんと一緒に、Part Ⅱを嵐山の女性教育会館で受け、3 回の Part が修了したので、ファシリテーター養成セミナーを、3/15 に受けてきました。

時間的に、13 時からなので半日だから早く終わるのだろうと、たかをくくっていましたが、全然そうではありませんでした。

最初の 1 時間くらいは、開講式と基調講演でしたが、そのあと 2 時間にわたり、ディスカッションを行いました。

リーダーシップ研究会の Part と違うところは、Part では、地区の RLI 役員さんがリーダーとなって質問等を受けて、返答すれば良かったのですが、養成セミナーでは、その反対で、自分がそのリーダーになり、メンバーに問いを投げる役です。その日の受講者は、10 名でしたので、3 グループに分けられ、一人約 10 分から 15 分間でリーダーを行う研修を行いました。

講師になる RLI 委員やファシリテーターは、ベテランの方が多く、終わった後の講評がすごく、いろいろと勉強になりました。受講者よりも、講師の方の人数が多いのですから、大変でした。

でも、この研修は本当にロータリーの勉強になりますから、会員の皆さん、ぜひ受けてみて欲しいと思います。

さて、この後は白幡会員の卓話です。正式に言うと、「ロータリー財団第 2570 地区資金管理委員会副委員長」です。よろしくお願いいたします。

<幹事報告>

田中快枝幹事

4/20(日)地区研修協議会での駿河台大学駐車場誘導のお手伝いがまだ数名足りませんので、ご協力宜しくお願い致します。



●委員長報告

[社会奉仕委員会]

一柳達朗委員長

第 2 回社会奉仕セミナーに参加してきました。第 1 部に「子供の貧困を考える」をテーマに基調講演「子ども食堂から学ぶ地域における公益的な取り組みについて」と題して埼玉県子ども食堂ネットワーク代表東海林尚文氏が登壇し講演が始まりました。

埼玉県子ども食堂ネットワークは埼玉県全域を対象とする子ども食堂の運営者が加盟するネットワーク団体で、企業・個人・行政・社会福祉協議会などと連携し、各地の子供食堂運営者をサポートしているそうです。

埼玉県内の子ども食堂の数は 2021 年 10 月には 132 か所でしたが、2025 年 3 月には 230 か所にまで増えたそうです。他の活動としては・子ども食堂サポート事業・交流事業・マッチング事業・行政/企業との連携など交流会も年 4 回行っている。利用者の声として「フルタイムで働いていて食事の準備に時間を割くことが難しかったので助かっている」「夕食作りの負担が減った」「母親が仕事に集中できた」「ママ友が出来た」「精神的にも安定し家庭内の雰囲気良くなった」など。運営者側の悩みとして「運営資金をどうやって集めるか」「ボランティアスタッフが集まらない」「必要な人に本当に届いているのか分からない」「利用者がなかなか集まらない」など。クローズ型の所だと周りに「このご家庭（お子さん）は貧困家庭なんだ」と分かっ



まうのも（そう思われてしまうかもしれない）悩みの1つ。

2008年のデータでは9人に1人が貧困家庭と言われているが、2024年時点では7人に1人の割合で貧困家庭と言われている。また、一人親家庭の子どもの貧困率は44.5%になり約2人に1人が貧困家庭と言われていると聞いて少し寂しい気持ちになった。配膳のお手伝いで中学生のお姉さん達が小さい子供達に「これ食べる？」と聞くと、好き嫌いの多い子供達も挑戦して食べてみる子もいて好き嫌いが減り色々な物を食べられるようになる子供もいるそうです。子ども食堂の機能として「家庭でもない、学校でもない第3の居場所」として利用するご家庭も多く「温かい食事、安心できる居場所、学習のサポート、読書活動、生活のリズムづくり」なども担っている。最後にビックリした事として「フードドライブ」活動と言うのがあります。これは各ご家庭で余っている食品を寄付する活動で食品ロスを減らし生活困窮者や子ども食堂などを支援する事を目的としている活動です。この「フードドライブ」活動は熊谷市にある全ての小学校の校長先生がこの活動に理解を示し学校でも活動が広がっているそうです。これは他の市では行っておらず入間市も行っていない活動だそうです。杉島理一郎市長にもこの活動を知ってもらい入間市内でも波及する事を期待しています。

<晝間和弘エレクト>

新現理事会を4月24日木曜日の18時から西山荘にて行います。今年の理事の方と来年の理事の方、ご出席よろしくお願いいたします。



<ニコニコBOX>

細淵克則SAA

宮崎正文君、晝間和弘君、田中快枝君、細淵克則君、津藤淳也君

R財団委員会 財団資金管理委員会副委員長
白幡英悟会員卓話宜しくお願い致します。

本日¥5,000 累計¥688,000

講師卓話

「ロータリー財団の資金」

白幡英悟様

ロータリー財団は、その使命に沿ったプロジェクトを行うことを通じて、世界の地域社会を少しずつ良い方向に変えていくことになります。そのプロジェクトを遂行して行くためにはやっぱり先立つものは、お金が必要です。どうしても財団っていうと寄付、寄付、寄付、給付、そういうイメージがつきまとうと思いますが今日は入門的なお話をさせていただきます。



寄付には大きく分けて三つあります。

[年次基金寄付]

財団の活動を存続・支援させるための燃料
(年次=毎年続ける)

[恒久基金寄付]

財団の活動を末永く続けることを可能にするための財源

(恒久=元金を使わない。収益のみを使用)

[使途指定寄付]

ポリオプラスが代表。使い道が決まった寄付。(ポリオプラスのプラスとは元々はポリオと同時に、はしか、ジフテリア、百日咳、結核、破傷風も同時に追放するもの)

折角ですので今日はどういう言葉がどういうことを意味しているのか、分かりやすく説明いたします。

◎ポール・ハリス・フェロー (PHF)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
年次基金・ポリオプラス基金等へ累計1,000ドル以上寄付した個人。その後、1,000ドル毎に授与(マルチプル=複数のという意味)

◎ポール・ハリス・ソサエティ (PHS)

年次基金・ポリオプラス基金等に毎年1,000ドル以上寄付する個人

◎ベネファクター

将来1,000ドル以上の寄付を誓約するか、恒久基金に1,000ドル以上寄付した個人

◎メジャードナー (MD)

寄付分類に関係なく累計10,000ドルに達した個人または夫妻

◎アーチ・クランプ・ソサエティ (AKS)

寄付分類に関係なく累計250,000ドルに達した場合 \$1=¥150として3,750万円

次にロータリー財団のプログラム

①補助金プログラム

クラブが補助金を利用するにはクラブ会長エレクト又は代表者が地区の補助金管理セミナーに出席し会長及び会長エレクトが覚書に署名する必要がある。

- 地区補助金・地元や海外のニーズに取り組むために使用できる補助金。2570地区では24-25年度47クラブ中36クラブが利用

○地区補助金奨学生・専攻分野は自由、国内大学でも海外留学でも可。入間クラブでは須山恵理香さん（2017-18）専攻：声楽

- グローバル補助金・2か国以上のクラブ・地区が7つの重点分野に関するプロジェクトに使用できる補助金。最低予算は30,000ドル。入間クラブでは過去にネパール地震で被災した学校設備支援

○グローバル補助金奨学生・7つの重点分野で海外の大学院で学ぶ場合のみ。入間クラブでは佐藤哲郎さん（2023-24）専攻：感染症

○国連難民高等弁務官（UNHCR）の緒方貞子さんもグローバル補助金奨学生

②ポリオ・プラス・プログラム

ポリオ根絶のための活動。急性灰白髄炎、小児麻痺。5歳以下がかかることが多い。確実な治療法はないため、ワクチン接種による予防が重要。生ワクチン（経口）と不活化ワクチン（注射）ポリオを根絶させることができると、天然痘に続いて地上で2番目に根絶される疾病となる（パキスタンとアフガニスタンが常在国）

③ロータリー平和センタープログラム

紛争解決と平和に関する国際問題について研究するためのフェローシップ
世界7か所8大学に設置（日本は国際基督教大学；ICU）2570地区では金子由佳さん（2010-11）が第8期生としてオーストラリアのクイーンズランド大学に留学。
パレスチナ支援、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンでガザ地区の事業を担当。この方

は今も精力的に一生懸命活動をしていらっしゃいます。パレスチナでガザを行ったり来たり、200回ぐらい、一生懸命危険な目に遭いながらも、平和、その紛争解決、平和支援という、そういう使命に燃えて遣っていらっしゃる、本当に頭が下がる方だと思います。そういう人たちを資金面、またアドバイスで後押しをして。巡り巡って、世界のため、日本のため、みんなのため戻ってくる。まあ、それを期待して出すわけではないですが。財団として寄付をお願いします。210ドルをクリアしている今、クラブの皆さんは、財団地区の財団の委員会の中でも入間クラブは凄いですねって言われるのは鼻高々です。それは皆さんが目標額を達成、クリアして下さっているお陰です。他にも米山寄付とか色々ありますが、財団の寄付はこれからも継続して今後ともよろしく願います。ポールハリスソサエティの寄付もいつでも受け付けていますので、資金余力があればどうぞお願いいたします。本日はありがとうございました。

<出席報告> 津藤淳也委員

会員数	出席数	出席率	修正率
38名	24名	68.0%	74.2%

事前欠席連絡5名

■回覧、配布物

- ①ロータリーの森奉仕活動参加のお願い
- ②入間市ゴルフ協会ご案内と申込書
- ③2027-2028年度ガバナー候補者公表
本庄ロータリークラブ五十嵐敦子様
- ④4/20地区研修協議会（駿河台大学）ご協力
- ⑤5/29夜間例会（清河園）出欠席表
- ⑥4/22入間南RC合同例会&ゴルフ会出欠表
- ⑦フードバンク4月定例会議事録
- ⑧プログラム4,5,6月
- ⑨他ロータリークラブ週報&お知らせ
- ⑩週報36号

発行 入間ロータリークラブ

■事務所：〒358-0005 入間市宮前町1-10 繁田醤油(株)内 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788
■Email：iruma-rc@jupiter.plala.or.jp
■例会場：丸広百貨店入間店6Fバンケットホール Tel. 04-2963-1111
■例会日：木曜日 12:30~13:30 ■会報委員長：吉田勉

